

新しい特産「切り花ハボタン」の産地づくり

湖北農業農村振興事務所農産普及課

【普及活動のねらい・対象】

J A レーク伊吹花卉部会は平成 26 年から切り花ハボタンに取り組み、県外の花き卸売市場へ出荷しています。しかし、露地栽培では 9 月になると草丈の伸長が緩慢になり、市場出荷規格の目安である切り花長 60 cm を確保できないという課題があります。

このため農産普及課では、草丈が伸びやすいハウス栽培を推進するとともに、露地栽培で草丈を伸ばす技術の確立を図ることで産地づくりを支援しました。

【普及活動の内容】

当課では、J A レーク伊吹と密接に連携し、次のような活動を行いました。

- (1) 平成 26 年と平成 27 年の栽培実績から、草丈を伸ばすポイントをリストにすることで、生産者が意識的に草丈を伸ばす管理をされるように支援しました。
- (2) 露地栽培で草丈を伸ばす実証ほを設置し、定植時期を早め草丈が伸びる期間を延ばす技術と、切り花長の伸長効果があるとして報告のあるペーパーポットを利用した若苗定植技術を実証しました。
- (3) 生育中は現地巡回を行い、必要に応じて栽培管理情報を作成し、J A から全生産者へ配布し、防除や追肥、下葉掻きなど、生育に応じた管理が実践できるように支援しました。
- (4) 花き卸売市場の方とともにほ場を巡回し、品質基準や出荷調製について助言を得る機会や、切り花サンプルを花き市場へ持込み、品質評価を聞く機会を設けました。



写真 市場関係者から品質評価をいただく

【普及活動の成果】

平成 28 年は、7 戸で 14,000 本が定植され、前年比 140% に生産が拡大しました。秋の気温が高く、「色戻り」という品質低下もありましたが、露地栽培でも販売に適した切り花長が確保され、販売本数は、昨年の約 4,000 本から、約 8,000 本になりました。半数は、J A を通して関西の花き卸売市場等へ出荷され、半数は、地元直売所で、小菊と併せたパック花や、ハボタン入り仏花など生産者の工夫ある組花の販売が行われました。

◎対象者の意見

露地栽培でも草丈が伸び、市場からも色づきや締まり具合で高い評価を得た。自信を持って栽培していきたい。(栽培経験 3 年目、若手生産者)